

吉田弘蔵

よしだ・こうぞう

誠之館仏学教師、高等文官、深安郡長、誠之舎舎長

経歴

生:天保14年(1843年)

没:大正9年(1920年)3月26日、享年78歳

明治元年(1868年)	25歳	箱館戦争に出征
明治2年(1869年)	26歳	大腿部に貫通銃創などを受ける
明治2年(1869年)～5年(1872年)	26～29歳	藩校誠之館において仏学教師
明治18年(1885年)	42歳	東京芝警察署長
—	—	長崎県警部長
—	—	愛知県警部長
明治24年(1911年)10月	48歳	濃尾大震災に遭遇
明治25年(1912年)	49歳	神奈川県警察部長
明治29年(1916年)	53歳	愛知県書記官
明治32年(1919年)	56歳	宮城県書記官
—	—	宮城県書記官を退官
—	—	東京市助役に迎えられる
明治34年(1901年)6月21日	58歳	星亨を襲った暴漢をとりおさえる
明治38年(1905年)～39年(1906年)	62～63歳	福山学生会会長・福山支部長
—	—	小石川区長
明治43年(1910年)～大正6年(1917年)	67～74歳	深安郡長
—	—	誠之舎舎長
—	—	正五位勲四等

生い立ちと学業、業績

天保14年(1843年)福山藩士吉田助右衛門豊辰の二男として生れる。通称を権介・弘蔵、

号は豊友・旦水・文軒。

明治元年(1868年)函館討伐の命を受けて出征、翌明治2年(1869年)両軍の攻防戦において大腿部に貫通銃創を受けたほか、数ヶ所の傷を負う。その後、明治18年(1885年)頃東京芝警察署長となり、ついで長崎県警部長を経て、愛知県警部長に転じた。たまたま明治24年(1891年)10月濃尾大震災があり、死者7000余人、治安の維持に努めた。明治25年(1892年)から5年間、神奈川県警察部長時代日清戦争を迎え、明治29年(1896年)愛知県書記官、明治32年(1899年)宮城県書記官に転じたが、仙台築港問題が政争となり、そのため退官した。間もなく進歩党(のちの政友会)の巨頭・星亨に招かれて東京市助役に迎えられ、日比谷公園の建設に参画した。明治34年(1901年)6月21日、星亨が東京市役所において兇漢伊庭想太郎のために暗殺された時、傍にいた氏は刀を奪って暴漢を取り押えた武勇伝の持主である。当時着用していたズボンには、血痕が附着していた。この事は朝日新聞社の五十周年記念縮刷版に掲載されている。

ついで明治38、9年(1905、6年)頃からは福山学生会会長として育英事業に尽力し、学生の就職等に奔走した。東京小石川区西片町在住当時、小石川区長を勤めたこともあるが、期間等は明らかでない。

のち郷党に迎えられて、明治43年(1910年)から大正6年(1917年)迄、深安郡長になって帰郷したが、退官後は、再び上京した。在官中の功により、正五位勲四等に叙せられた。

五男四女の子福者であったが、大正9年(1920年)3月脳溢血のため急逝。享年78歳。

画家の吉田卓は、氏の次男。

撰文と揮毫

大正元年(1912年)11月、福山市三吉町南に建つ「三枚橋の石碑」に篆額し、撰文した。

大正3年(1914年)11月、福山市東深津町に建つ「辻之坂開鑿碑」に篆額した。

大正6年(1917年)10月6日、福山市曙町塩崎神社に建つ「新涯開墾五十年祭記念碑」を揮毫した。

大正7年(1918年)4月、福山市春日町浦上に建つ「春日村道路改修之碑」に揮毫した。

出典1:『備後先覚者名鑑(郷土を創った人々)』、式見静夫編、備後文化出版社刊、昭和35年6月

出典2:『誠之舎一戦争と占領下の一学生寮の記録一』、文集『誠之舎』編集委員会編、誠之舎潺潺会刊、昭和60年6月28日

出典3:『福山学生会雑誌(第55号)』、53頁、福山学生会事務所編刊、大正9年11月25日

出典4:『近世後期の福山藩の学問と文芸』、94頁、福山市立福山城博物館編刊、1996年4月6日

出典5:『郷賢録』、27頁、福田禄太郎著、福山城博物館友の会編刊、平成12年10月1日

出典6:『福山藩の教育と沿革史 藩校から小学校まで』、167頁、「吉田弘蔵」、清水久人著、鷹の羽会本部阿部正弘公顕彰会刊、1999年8月20日

出典7:『福山の碑』、102頁、「三枚橋の石碑」、三上勝康著、福山市文化財協会刊、昭和50年11月10日

出典8:『福山の碑』、120頁、「辻之坂開鑿碑」、三上勝康著、福山市文化財協会刊、昭和50年11月10日

出典9:『福山の碑』、125頁、「春日村道路改修之碑」、三上勝康著、福山市文化財協会刊、昭和50年11月10日

2005年3月2日更新:出典●2005年5月9日更新:レイアウト●2006年5月8日更新:タイトル●2007年11月20日更新:経
歴・本文・出典●2009年3月2日更新:経歴●2009年5月28日更新:本文・出典●2012年3月8日更新:経歴・本文・出典●
2012年3月27日更新:本文●